

縣市協調新ホール整備基本計画（素案）について

1 趣 旨

「縣市協調新ホール整備基本方針」（R2.12策定）を踏まえ、「新ホール整備」のより具体的な内容を定める。

2 概 要

（1）新ホールの位置づけ

- ・「県立施設」として、県が主管
- ・縣市協調の連携内容や役割分担について、協定書を締結して取組みを推進

（2）基本目標

県全体の文化芸術の振興や、県都のにぎわいの創出等の中核施設としての役割を担うことから、豊かで活力ある地域社会の実現に向けた整備を進めるための基本目標を次のとおりとする。

徳島ならではの文化芸術の力を結集し、夢と希望あふれる未来を創生する

（3）施設の使命

- ①徳島ならではの新たな文化芸術を創造し、魅力を発信する
- ②徳島の文化芸術の未来を担う人材を育てる
- ③県民に優れた文化芸術を鑑賞する機会を提供する
- ④国内外の多くの人々が集う施設となり、県全体の活力を向上させる

（4）建設用地

- ・建設予定地として、「旧・徳島市立文化センター跡地」、「現・徳島青少年センター敷地」に「現・徳島市中央公民館、徳島市社会福祉センター」を加える
- ・「寺島公園」、「現・徳島中央警察署敷地」を一体的に活用
- ・JR四国等との緊密な連携の下、JR牟岐線への新駅設置を検討

（5）事業展開の方向性

①文化創造、魅力発信事業

- ・新機軸の挑戦や幅広い分野の融合による文化芸術の創造
- ・新ホールを拠点に「徳島発」の新たな文化芸術を国内外に向けて発信

②次世代人材育成事業

- ・若い世代の新たな才能の発掘と育成
- ・幅広い方々が主体的に活躍するプログラムや講座の実施

③鑑賞機会提供事業

- ・優れた文化芸術の鑑賞機会を提供
- ・最新機器や舞台機能の活用により、あわ文化の魅力を一層高めた公演開催

④にぎわい創出事業

- ・全国レベルの広域大会、国際会合や学術会議等の誘致・開催
- ・新ホールが核となる文化芸術を通じた県全域への誘客促進

(6) 施設整備の基本的事項

- ・全ての利用者の希望に応え、活気に満ち、思わず立ち寄りたくなる拠点
- ・「阿波おどり」、「阿波人形浄瑠璃」の公演・練習への配慮など、「徳島ならではの」の特徴を持った拠点

(7) 施設構成と機能

①大ホールエリア

大ホール（1800席～2000席）、ホワイエ、舞台、舞台設備、楽屋、リハーサル室、搬入口

②文化創造エリア

小ホール（300席～500席）、多目的スタジオ、活動室・会議室

③交流・にぎわい創出エリア

エントランス、交流ロビー、展示スペース、カフェ・レストラン等

④管理業務エリア

管理事務室、外構・駐車場等

(8) 整備手法について

「設計・施工一括発注方式」のうち「設計交渉・施工タイプ」

(9) 事業費

施設本体工事費 約180億円（約20,000㎡）等

(10) 整備スケジュール

「大阪・関西万博」の波及効果を視野に入れ、2025年度の開館

(11) 管理運営の基本的事項

- ①きめ細かなサービスの提供
- ②既存概念にとらわれない文化芸術の専門性の確保
- ③文化芸術活動を安定的に継続させる施設管理
- ④経営的視点を持った管理運営
- ⑤事業評価の仕組みの構築